

世の中のためにつくした人々

二本松に生まれ世の中のためにつくした人々や、よその土地に生まれ二本松にまねかれて二本松のためにつくした人々をしょうかいします。

ここでしょうかいする人たちは、いろいろなくろうをし、それをのりこえて世の中のためにりっぱな仕事をしました。二本松市が歴史と文化、学問のさかんな町として栄えているのも、これらの人々のおかげです。このほかにも二本松から多くのすばらしい人々が出ていますが、限られた人だけしょうかいしてありますので、先生や家の人などから聞いてください。また、自分から図書館などでここに書いてある人々ばかりでなく、二本松にゆかりのある人々をたくさん調べてみてください。きっと社会科の勉強ばかりでなく、これからの自分の生きる道しるべにもなると思います。

氏 名	こ と が ら
<p>磯村吉徳 (生年不詳～1710)</p>	<p>さんかくしゃ わさん 算学者(和算)として有名です。 にこうだようすい そくりよう せつけい 二本松藩初代藩主丹羽光重公につかえ、二合田用水工事の測量や設計にあたりました。</p> <p>この用水は、安達太良山のふもとから霞ヶ城を通して、途中の田畑をうるおし作物の成長に大切な役目をはたしてきました。</p> <p>工事は、江戸幕府のゆるしがほしかったのですが、ゆるしをとらずに夜間ちょうちんの明かりを利用して工事にあたったと言われています。</p> <p>よし のり ほうえい 吉徳は、宝永七年(1710年)この世を去りましたが、そのお墓は、根崎の善性寺にあります。数学者であったことから数学がわかるようにと、今でもお墓参りをする人がたえません。</p>
<p>安部井磐根 (1833～1916)</p>	<p>はんし 二本松藩士の子どもとして生まれました。磐根は大変な勉強家で、青年の頃、本居宣長の本を読みとても感動し、「古事記伝」四十八巻を読みこなし、四年がかりで全部書き写しました。この写本は、今でも郭内の家に大切に保存されています。</p> <p>また、初代の県議会議長として、議会での堂々とした態度は、今でも議長をつとめる人の手本となっています。その後、第一回衆議院議員選挙でどうせん 当選し、副議長までつとめました。その時、おしく 汚職をした政治家をあいまいにすることなく、不正をなくすことに努力しました。</p> <p>いわね かざい いっさい こうきゅうじきむ 磐根は、自分の家財一切を公共事業などに寄付することを言い残し八十五歳で亡くなりました。</p>